沖縄防衛局
Okinawa Defense Bureau

はいさい

第198号
令和6(2024)年5月16日

— 編集企画・発行 —
沖縄防衛局
総務部報道室

沖縄防衛局ホームページ

沖縄防衛局広報　〒904-0295 嘉手納町字嘉手納290番地9 TEL(098)921-8131　https://www.mod.go.jp/rdb/okinawa/

林内閣官房長官 訪沖

ロウワー・プラザ緑地ひろば視察

キャンプ・ハンセンに関する三町村連絡協議会との懇談

浦添市長との懇談

那覇市長との懇談

林内閣官房長官が令和６(2024)年３月30日から31日の日程で沖縄を訪れました。

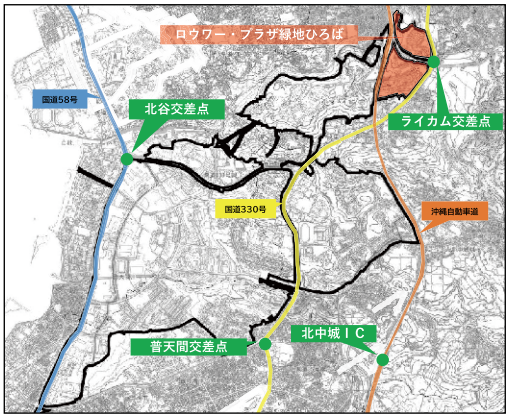
３月30日、ロウワー・プラザ緑地ひろばの記念式典及び現地視察を行い、翌31日には、キャンプ・ハンセンに関する三町村連絡協議会（金武町長、宜野座村長、恩納村長）との懇談、浦添市長との懇談、那覇市長との懇談及び那覇港湾施設移設先・牧港補給地区の視察などを行いました。

目　次　CONTENTS

◆ロウワー・プラザ緑地ひろば記念式典 …… 2
◆陸上自衛隊勝連分屯地ミサイル連隊新編について… 4
◆幹部職員の紹介 …… 4
◆４月３日津波警報発令時に伴う
米軍基地ゲート開放について …… 6
◆コザ運動公園立体駐車場等完成セレモニー …… 6
◆令和５(2023)年度
沖縄防衛局長感謝状の贈呈について …… 7
◆在日米軍基地従業員等へのハラスメント防止講習会… 8
◆令和６(2024)年度沖縄防衛局業務研修について… 8

ロウワー・プラザ緑地ひろば記念式典

令和６(2024)年３月 30 日ロウワー・プラザ緑地ひろば記念式典



ロウワー・プラザ緑地ひろば位置図

キャンプ瑞慶覧の一部であるロウワー・プラザ住宅地区は、沖縄県沖縄市及び北中城村に所在しており、面積は約23ha（約 230,000 ㎡）です。沖縄統合計画において定められた条件が満たされたのちに返還されることとされており、防衛省は、返還条件の達成に向けて取り組んでいるところですが、返還が実現するまでの間、沖縄県民の皆さんの生活の利便性の向上などのために同地区を利用できるよう日米間で共同使用合意を締結しました。

防衛省は、同地区を緑地ひろばとして整備し、令和６(2024)年３月31日に「ロウワー・プラザ緑地ひろば」として一般利用を開始しました。利用開始前日の30日には、桑江沖縄市長、比嘉北中城村長ほか多数のご来賓をお招きし（政府からは林官房長官他が出席)、記念式典を開催しました。

ロウワー・プラザ緑地ひろば

緑地ひろばについて

米軍住宅を撤去し、緑地ひろばとして、丘陵地の自然や景観を活かした整備を行い、駐車場やベンチ、トイレなどを設置しております。返還後は地元において跡地利用することを考慮し、既存の道路やフェンス、ソフトボール場などを活用した必要最低限の整備としています。

休憩場

ソフトボール場

【開場時間】：午前７時から午後７時まで（休場日なし。但し、臨時に休場とする場合あり）

【ソフトボールの利用に関するお問い合わせ先】

ロウワー・プラザ緑地ひろば管理事務所　電話番号：090-6859-7896

【許可が必要な利用に関するお問い合わせ先】　沖縄防衛局　電話番号：098-921-8181（内 217・233）

申請期日　利用日の 45 日前まで

許可が必要な利用

（1）物品等の販売、その他これらに類する行為をすること。

（2）競技会、展示会、集会その他これらに類する催しのため、緑地ひろばの全部又は一部を独占して使用すること。

（3）火気を使用すること。

これらの行為をする場合、使用料の納付が必要となります。

但し、沖縄防衛局長が、公用又は公益上特に必要があると認めるときは、使用料を免除することができます。

詳細は、沖縄防衛局HPで確認いただけます

陸上自衛隊勝連分屯地ミサイル連隊新編について

令和６(2024)年３月30日、鬼木防衛副大臣は、陸上自衛隊勝連分屯地において、第７地対艦ミサイル連隊の新編行事に出席し、訓示を行い、隊員を激励しました。

地対艦誘導弾部隊は、我が国を洋上から侵攻する敵艦艇を洋上において阻止することを目的とする部隊であり、全長が約 1,200km に及ぶ広大な南西地域において、島嶼部に対する侵攻を洋上で効果的に阻止し、島嶼部を防衛するため、奄美大島、宮古島、石垣島に加え、南西地域のおおむね中間地点に位置する沖縄本島においても、地対艦誘導弾部隊を配備することとしました。

そのため、今般、第７地対艦ミサイル連隊本部及び本部管理中隊(約100名)を新編するとともに、第７地対艦ミサイル連隊隷下の１個地対艦ミサイル中隊(約60名)を新編しました。

今回の新編により、南西地域の防衛体制がより一層強化され、我が国の抑止力・対処力の強化につながります。

幹　部　職　員　の　紹　介

総務部長　吉田弘之（よしだ ひろゆき）

４月１日付けで総務部長を拝命しました吉田です。昨年４月に初めて沖縄で勤務(労務管理機構沖縄支部）することとなり、沖縄防衛局における勤務は、今回が初めてになります。総務部は局内のとりまとめ的な部署ですので、局内の各部等と連携をとりながら、沖縄防衛局の責務を適切に果たせるよう努めてまいります。沖縄のことは、仕事でもプライベートでも勉強中ですが、よろしくお願いします。

調達部長　三沢大輔（みさわ だいすけ）

４月１日付けで調達部長を拝命しました三沢です。調達部の業務は沖縄県内に所在する自衛隊及び米軍の施設の整備を進めることですが、これらの整備にあたっては地域の皆様のご理解とご協力、施設整備に関連する企業の皆様との連携が必要不可欠です。沖縄防衛局は９年ぶり２度目の勤務になりますが、沖縄の皆様のお考えをしっかりお聞きしながら、施設の整備に取り組んでまいりますのでどうぞよろしくお願いします。

会計監査官　比嘉秀樹（ひが ひでき）

４月１日付けで会計監査官を拝命しました比嘉です。我が国の安全を維持するために、格段に厳しさを増す財政事情の中、その予算の執行状況を適正に監査する会計監査業務は重要な職務であると認識しております。予算執行職員だけではなく、関係者の皆さんと協力して適正な予算執行に努めてまいる所存です。どうぞよろしくお願いいたします。

企画部次長 西（にし） 哲郎（てつろう）

4月1日付けで企画部次長を拝命しました西です。文部科学省より出向してまいりました。これまで、学校の施設整備費や災害復旧費の補助事業などを行っており、勤務先も、文部科学省の他、教育委員会など多くの組織で勤務してまいりました。今回、沖縄防衛局での勤務にあたり、これまでの経験を活かすとともに、皆様の話をしっかりとお伺いし、様々な課題の解決に向けて取り組んでまいります。よろしくお願いします。

調達部次長 定村（じょうむら） 修義（のぶよし）

4月1日付けで調達部次長を拝命しました定村です。沖縄での勤務は今回が初めてですが、広大な青い海、緑豊かな山々等素晴らしい環境に触れ、また、沖縄の歴史・文化も学べることを楽しみにしています。現在、沖縄防衛局では自衛隊及び米軍の施設整備について、数多くの重要な事業があり、自身の経験を活かしながら、地元沖縄の皆様方のご意見にもしっかり耳を傾け、職員とともに業務に取り組んで参りますのでどうぞよろしくお願いいたします。

管理部次長 渡久地（とぐち） 政樹（まさき）

4月1日付けで管理部次長を拝命しました渡久地です。管理部は、在日米軍施設及び自衛隊が使用する演習場や飛行場などの防衛施設に係る取得、管理及び補償や返還地の支障除去等の業務のほか、米軍人等による事件・事故などの対応を行っており、防衛施設を支える大変重要な役割を担っております。沖縄における様々な課題の解決に取り組むために全力で職務に邁進してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

労務管理官 前田（まえだ） 康宏（やすひろ）

4月1日付けで労務管理官を拝命しました前田です。労務管理官室は沖縄の米軍施設での勤務を通じて在日米軍の活動を支えている約9,000名の基地従業員の方々の労務管理を担っており、基地従業員の方々が安心して就労できる良好な職場環境を維持するため、労働組合の知見も伺いつつ、現地米軍のほか関係機関とも連携して諸課題の解決に全力で取り組んで参りますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

名護事務所長 大牟禮（おおむれ） 修（おさむ）

4月1日付で名護防衛事務所長を拝命しました大牟禮です。沖縄勤務は初めてとなりますが、美しい海と豊かな森林など、やんばるの自然に触れながら仕事ができることに喜びを感じております。私は名護で働くうえで「各安生理（かくあんせいり）」をモットーといたします。これは名護の地頭、程順則（名護親方）が17世紀に琉球に持ち帰った「六諭衍議（りくゆえんぎ）」六つの教えのうちの一つであり、“自分の置かれた場所で、自身を磨く努力をし、やるべきことを成し遂げる”という教えとなります。この言葉を胸に刻み、地元の皆さまのお話しをしっかりと伺ったうえで、課題の解決のために取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

那覇出張所長 許田（きょだ） 修二（しゅうじ）

4月1日付けで那覇出張所長を拝命しました許田です。那覇出張所の管轄区域は、沖縄本島那覇市以南の4市及び島尻郡の一部10町村となっております。出先機関としての業務を担っていく上で、常日頃から本局と緊密な連絡体制を維持し、防衛施設の運用等から生じる諸問題の早期解消に向け、迅速かつ的確な対応に努めてまいります。地域の皆様の視点に立ち、より地域に密着した対応を心がけ取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

金武出張所長 與那嶺（よなみね） 直樹（なおき）

4月1日付けで金武出張所長を拝命しました與那嶺です。金武出張所は金武町、宜野座村及び恩納村を管轄区域としております。区域内に所在する米軍施設と自衛隊の設置・運用から生じる諸問題の早期解消に向けて迅速かつ的確に対応するため、地の利を生かし、早急な現場状況の把握、情報の収集に務めるとともに、地域の皆様の要望や苦情等に対しましても、迅速丁寧な対応を心がけ取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

4月3日津波警報発令に伴う米軍基地ゲート開放について

令和６(2024)年４月３日午前、台湾付近を震源とする地震の発生に伴い、沖縄本島地方、宮古島・八重山地方に津波警報が発令されました。

津波警報の発令を受け、在沖米軍は、普天間飛行場や嘉手納飛行場など複数の米軍施設において、自治体と在沖米軍との間で締結されている災害協定等に基づき、住民の皆さんの避難経路としてゲートを開放しました。

住民の皆さんは、海沿いを避け、開放されたゲートから基地内を抜け高台へと避難しました。普天間飛行場では延べ 1,500 人、嘉手納飛行場では延べ 250 人の皆さんが避難したとのことです。

普天間飛行場における近隣住民の避難の様子。
津波警報発令後、第１ゲート及び第２ゲートが避難経路確保のために開放されました。

嘉手納飛行場における近隣住民の避難の様子。
津波警報発令後、北谷砂辺側の第１ゲート及び沖縄アリーナ近くの第５ゲートが開放されました。

コザ運動公園立体駐車場及び平面駐車場完成セレモニー

沖縄アリーナと駐車場

令和６(2024)年４月14日、コザ運動公園立体駐車場及び平面駐車場の完成セレモニーが行われ、桑江沖縄市長をはじめ関係者の方々が出席し、施設の完成を祝いました。

本施設は、令和３(2021)年２月に完成した沖縄アリーナでの各種イベント等に訪れる多くの来客者にご活用いただけるよう、約1,400台が収容できる規模の駐車場（立体駐車場・平面駐車場）として整備したものであり、「再編推進事業補助金(補助額約43億円)」を活用して令和３(2021)年度から事業を開始し、令和６(2024)年３月末に完成したものです。

沖縄防衛局としては、地域住民の皆様方の生活と防衛施設との調和を図ることが重要と認識しており、今後とも地域の皆様方の生活の安定や福祉の向上に寄与するよう各種施策の推進に努めてまいります。

当局担当者の声

昨年度から再編推進事業で沖縄市を担当しております、企画部施設対策計画課の仲松です。

沖縄アリーナは地域活性化に大きく期待されている施設であり、様々なイベントが開催されておりますが駐車場不足が課題となっておりました。

この駐車場が完成したことにより、沖縄アリーナやコザ運動公園を訪れる方々の利便性が高まり、さらなる地域活性化に繋がるものと期待しております。

今後とも、様々な事業における地域の活性化にお力添えができるよう業務に取り組んでまいります。

テープカットの様子

令和５(2023)年度沖縄防衛局長感謝状の贈呈について

防衛省においては、例年、11月１日の自衛隊記念日に合わせて、防衛省・自衛隊の活動や事務の遂行に著しい功労があった方に対して、沖縄防衛局長より感謝状を贈呈しています。

令和５(2023)年度、沖縄防衛局管内においては、防衛施設の安定的使用に多大な御協力を賜った松川宜野湾市長、また、提供水域の安定的使用に多大なご協力を賜った上原勝連漁業協同組合代表理事組合長、外間南原漁業協同組合代表理事組合長、若津石川漁業協同組合代表理事組合長の４名の方に感謝状が贈呈されました。

沖縄防衛局としては、御協力・御理解に深く感謝するとともに、今後とも、引き続き沖縄の負担軽減に努めてまいります。

（左から）伊藤沖縄防衛局長、松川宜野湾市長

（左から）伊藤沖縄防衛局長
上原勝連漁業協同組合代表理事組合長
外間南原漁業協同組合代表理事組合長
若津石川漁業協同組合代表理事組合長
大城管理部長

在日米軍基地従業員等へのハラスメント防止講習会

当局は、令和６(2024)年２月20日及び21日、キャンプ瑞慶覧ベースシアターにおいて、在沖米軍施設に勤務する基地従業員及びその監督者を対象にハラスメント防止のための講習会を開催しました。

本講習会は、厚生労働省沖縄労働局雇用環境・均等室、独立行政法人労働者健康安全機構沖縄産業保健総合支援センター及び在沖米海兵隊民間人人事部のご支援ご協力を得て、基地従業員における職場のハラスメント防止についての関心と理解を深め、ハラスメントの未然防止を図るとともに、メンタルヘルスケアに係る意識の向上や働きやすい職場環境作りに繋げるために開催したものです。

なお、本講習会には、各軍等の人事担当者も含め、２日間で計960人の参加があり、熱心に耳を傾けていました。

参加者からは、「このような講習会を受講することで、職場内でハラスメントについて話し合う機会が増え、コミュニケーションを深めるきっかけになると思う。」等ご意見が多数寄せられ、ハラスメント防止についての関心を深めていただく事ができました。

当局としては、本講習会を今後も継続して開催し、基地従業員の方々が安心して就労できる良好な職場環境を維持するように努めてまいります。

講習会の様子

令和６(2024)年度沖縄防衛局業務研修について

沖縄防衛局では、新規採用者等43名を対象とした初任者研修を行いました。研修は３日間の座学に加え現地研修を行い、計４日間にわたって実施されました。

座学研修では、当局職員による各業務に関する講義のほか、沖縄総合事務局からも講師を招き実務に関する基礎知識の習得に努めました。

１日かけて行われた現地研修では、キャンプ瑞慶覧返還跡地（西普天間住宅地区）等視察のほか、航空自衛隊那覇基地を訪問しました。基地概要の講義を受けた後、格納庫等施設を見学し、隊員の方から直接お話を伺える貴重な機会となりました。

また、防衛本省で行われた初任者研修についてはオンラインで受講し、防衛政策をはじめ防衛省の多岐にわたる業務等についても学ぶことができました。

防衛省職員としての使命感を高めるとともに、同期の絆を深めることができた非常に有意義な研修となりました。

局職員による講義

那覇基地で航空機の説明を受ける様子

沖縄防衛局の情報を定期的にお届けしてるよ！

沖縄防衛局 広報
X（旧 Twitter）

沖縄防衛局
ＨＰ